



TITLE:

天文漫筆むづらん星お三大將星

AUTHOR(S):

野尻, 抱影

CITATION:

野尻, 抱影. 天文漫筆むづらん星お三大將星. 天界 1931, 11(119): 206-206

ISSUE DATE:

1931-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161629>

RIGHT:

(天 文 漫 筆)

むづらん星お三大將星

(野 尻 抱 影)

先ごろ或る友人が、以前岩手縣生れの先生から聞いたと言つて知らせて呉れた星の名は「むづらん星」と「おさんだいしよ星」の二つである。

「むづらん星」が「むつら星」であることは容易く分る。牡牛座のプレイアデス星團で、昔から一般には「すばる星」であつた。「むつら星」は主に江戸の名で、僕の七十四になる母も此の名を言つてゐる。眞田の紋どころの訓讀みを想はせるが、「すばる」に劣らぬ好い名である。それを東北流に濁つて言ひ、「ん」が添つたのも地方味が濃くて面白いと思ふ。

「おさんだいしよ星」には聊か面喰つた。オリオン座の「みつ星」のことと説明されたので、お三大將星だと判斷が出来た。しかし、これは非常に珍しい名である。三つ並ぶ星を三大將に見立てたところは、何處か日本離れがしてゐないだらうか。僕は直ぐ、和漢三才圖會などの參宿(オリオン)の項に、「三星横に列なるは三將也」とあるのを思ひ出してゐた。江戸時代に相當に弘まつた支那天文の知識が東北のその地方ですつかり根がついたものではなからうか。他の地方でもこれに類した星の名があるが、それを教へて戴きたいものである。

此の二つの星の名に就いて「遠野物語」の著者佐々木喜善君に照會したところ、「ムツラ、オ三大將などは常に聞いて居ります。其の外、火タキ星、水汲み星、どこにもある夜這ひ星なども聞いて居りました、改めて資料を集めませう。」と返事を送られて、まだその儘になつてゐる。僕は「火たき星」「水汲み星」の名でむりに空想を逞しくしてみたが見當もつかない。特に本會員で東北地方の諸氏に調査をお願いしたと思ふ。併せて傳説などに就いても。

僕の乏しいノートにも、地方の未見の友人から恵まれる報告がほつほつ新材料を加へつゝある。それは追々と此の頁で發表したい。かういふ星の異名や傳説の蒐集が有意義のことであるのは勿論、本會の如き組織の手を借りて今の中にやつて置かないと、永久機會を逸してしまふ恐れがあると思つてゐる。(二・一)